

旧東清掃事業所解体工事説明会

工事の進め方について

令和6年5月22日(水) 19:00

② 令和6年5月25日(土) 14:00

発注者 相模原市 環境経済局 清掃施設課

受注者 東亜建設工業・入江建設 共同企業体

施工会社について

1 施工会社の紹介

代表企業	東亜建設工業 株式会社 ・1908年に港湾を埋立・造成する会社として創業した企業が起源となる総合建設会社 ・創業地は、神奈川県横浜市鶴見区
構成企業	株式会社 入江建設 ・1970年に創業した、相模原市の総合建設会社

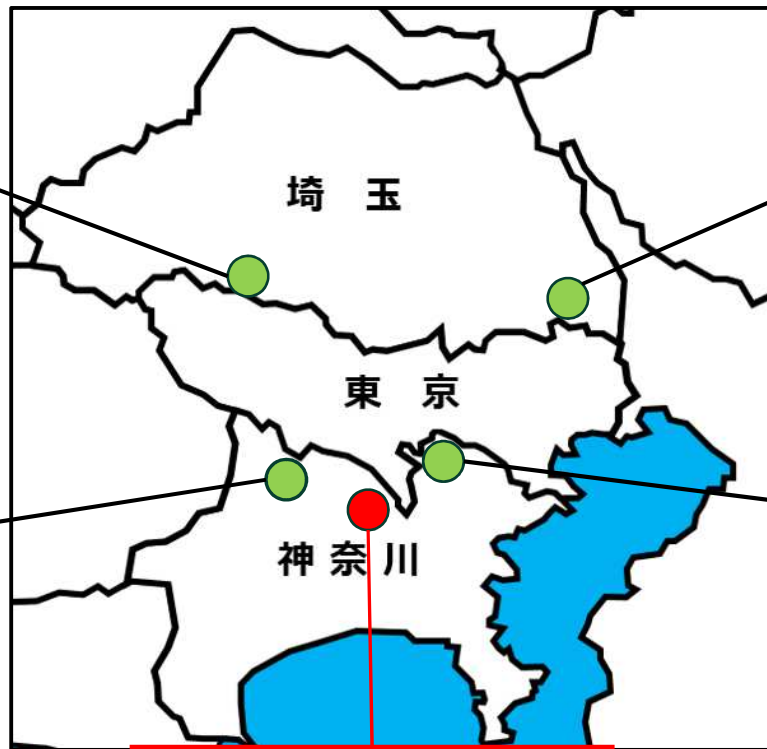
2 これまでの工事実績(廃棄物処理施設の解体)



令和3年:飯能市ごみ処理施設
(飯能市)



平成23年:津久井クリーンセンター
(相模原市)



旧東清掃事業所
(相模原市南区古淵5-33-1)



平成22年:青木環境センター
(川口市)



平成25年:王禅寺処理センター
(川崎市)

工事件名： 旧東清掃事業所解体工事

1 工事の概要

2 建物などの解体について

3 事前調査の結果 および 解体方法について

4 周辺的生活環境への対策について

1. 工事の概要

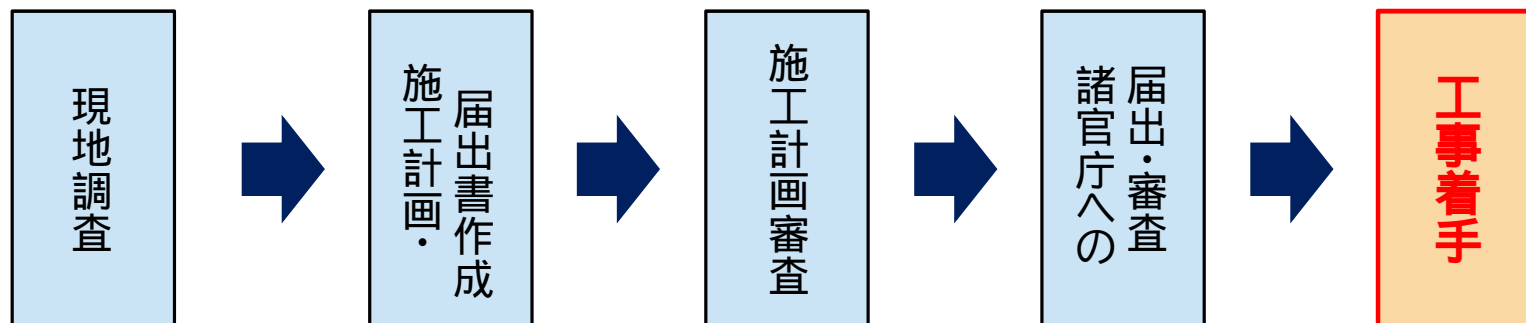
(1) 工事内容について

工事件名	旧東清掃事業所解体工事
受注者	東亜建設工業・入江建設共同企業体
契約期間	令和6年3月19日(火)(契約日) ~ 令和8年9月30日(水)
工事の 主な内容	<ul style="list-style-type: none">・ 建物の解体、撤去・ 地中構造物(建物の基礎など)の解体、撤去・ 南側擁壁の解体・撤去

(2) 作業時間及び休工日について

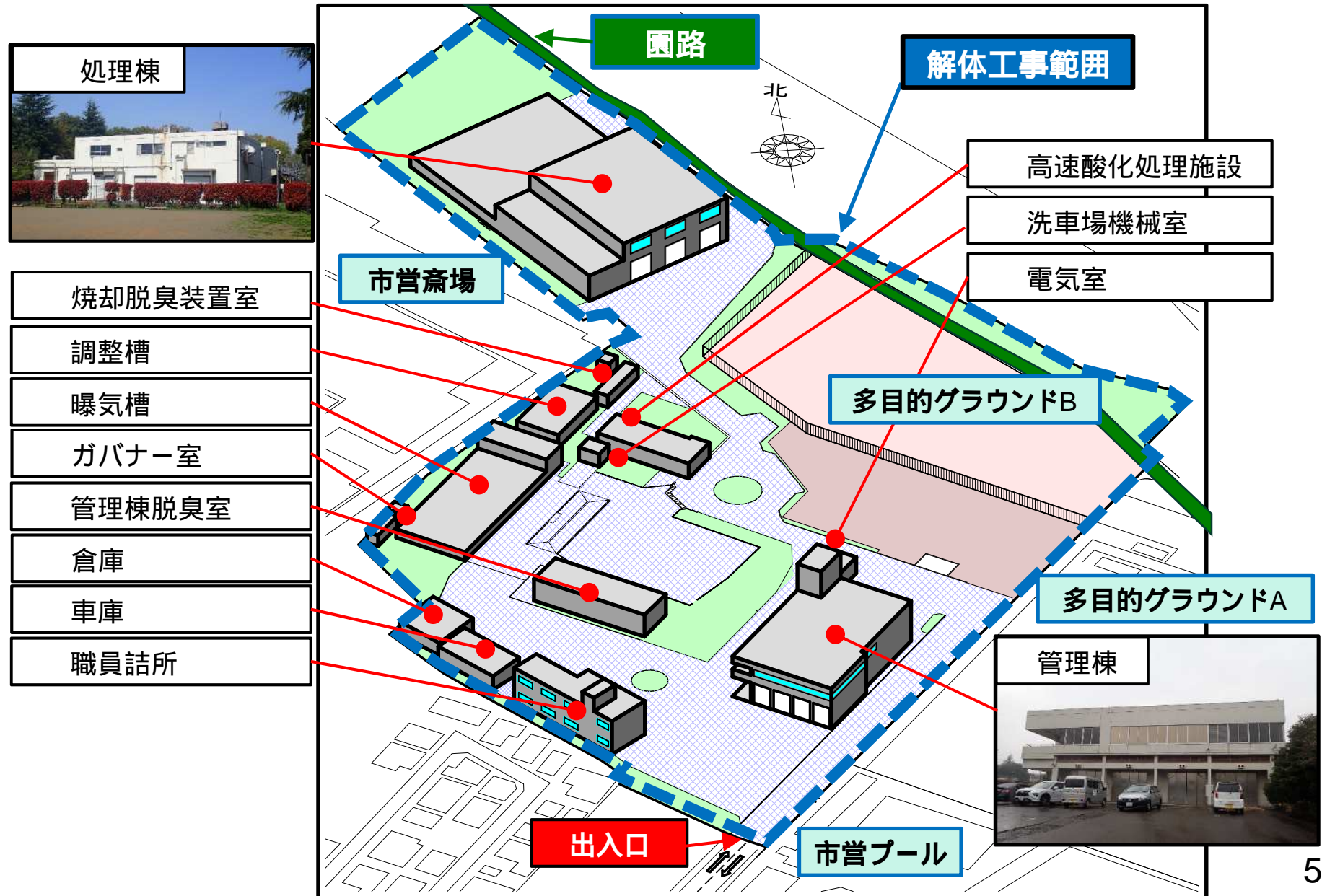
作業時間	8:30 ~ 17:00 この時間の他、前後1時間程度の準備や片付け作業などを行います。
休工日	日曜・祝日、年末年始など

(3) 工事開始までの流れについて



1. 工事の概要

(4) 解体する建物について



1. 工事の概要

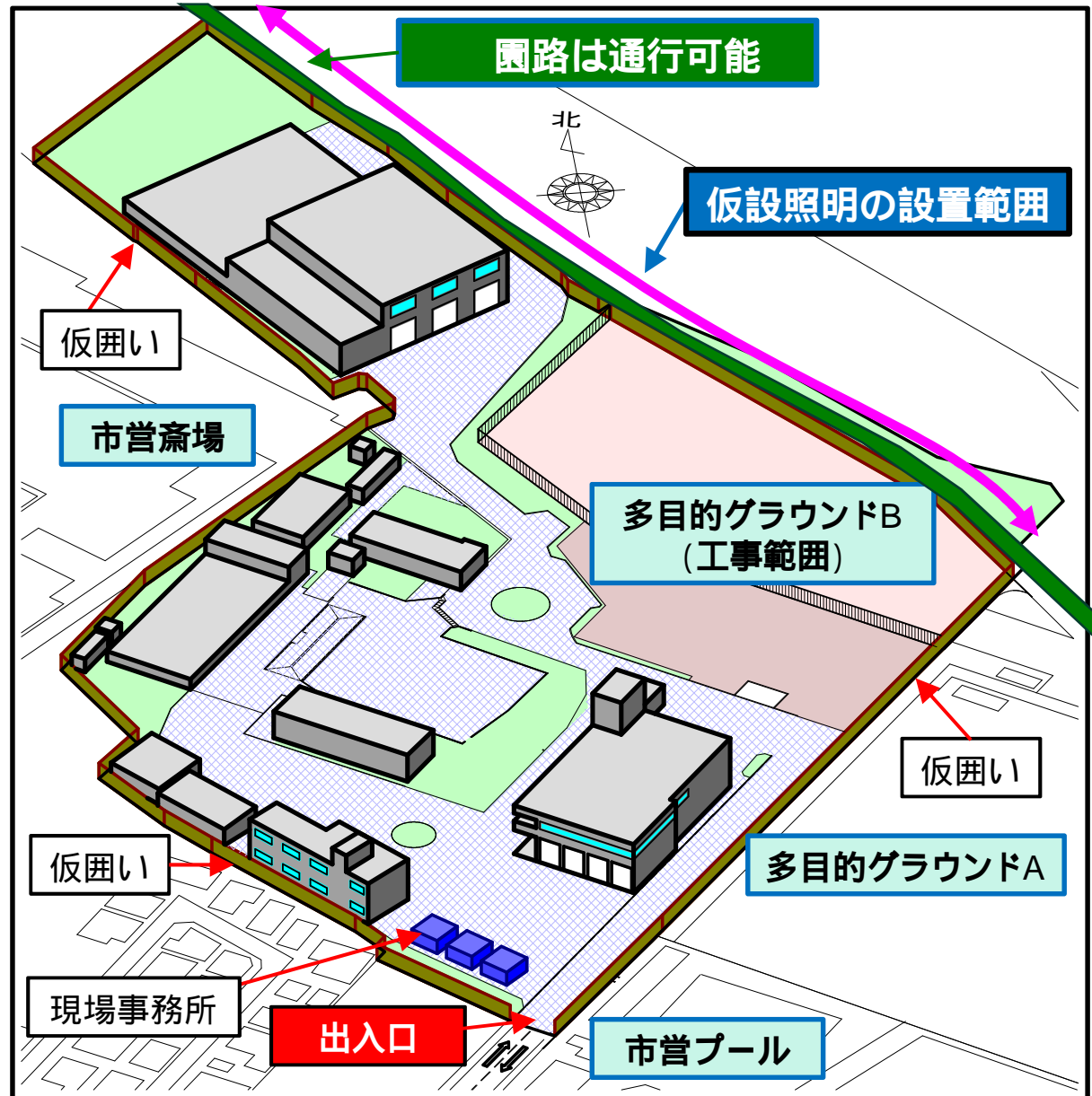
(5) 工事計画について



仮囲い設置時のイメージ
(3m鉄板製)

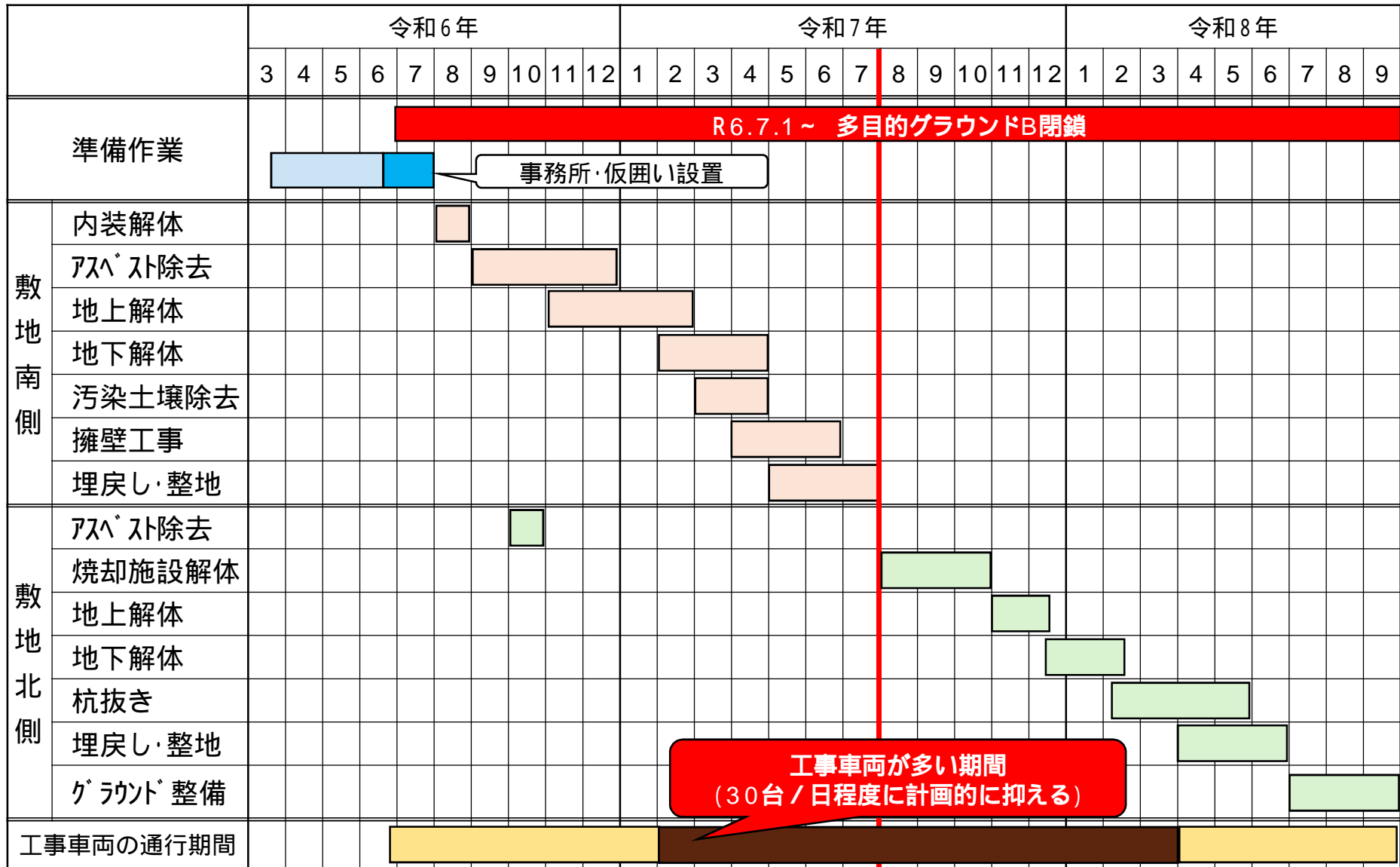


仮設照明の設置例



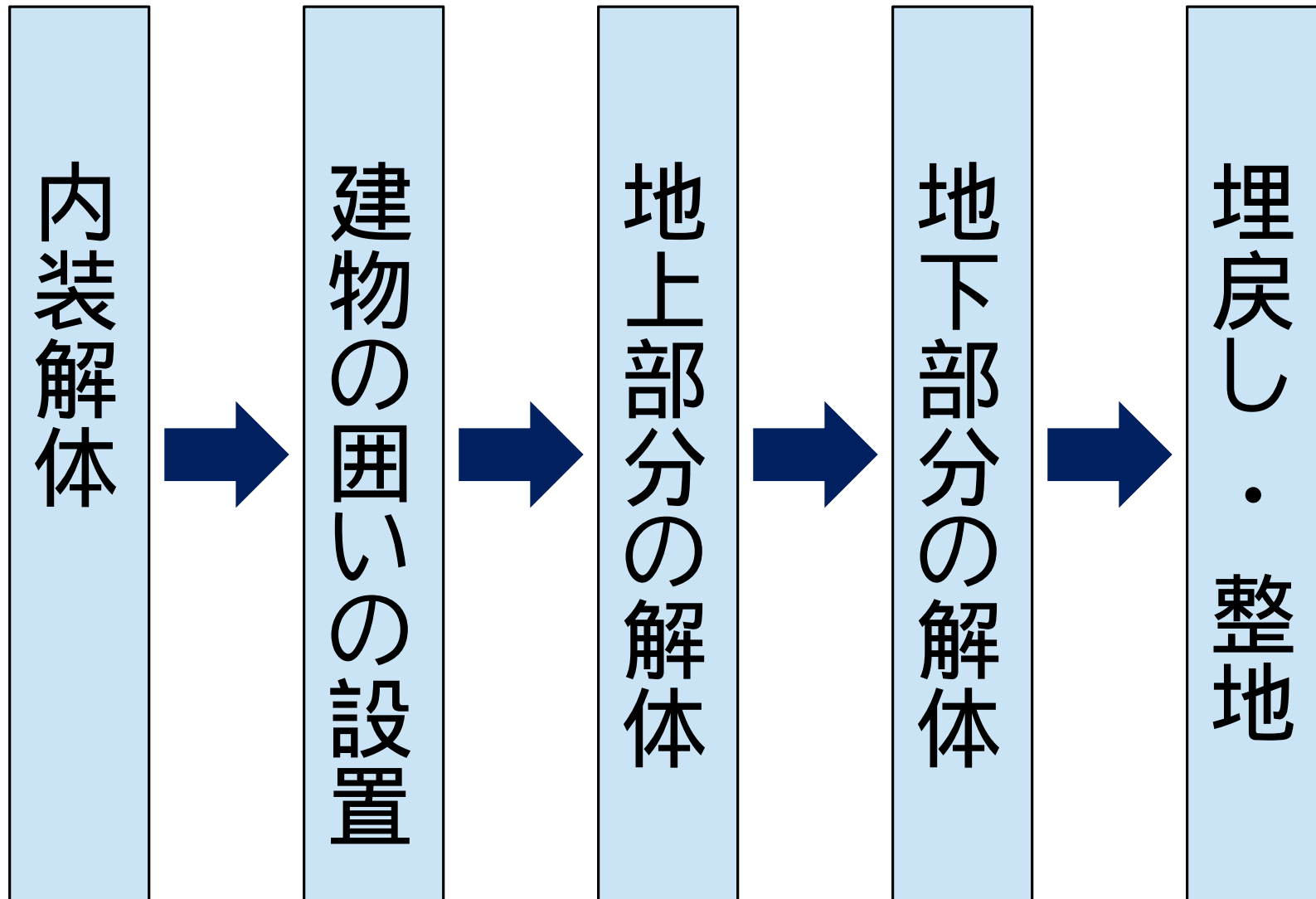
1. 工事の概要

(6) 工事工程について



2. 建物などの解体について

(1) 解体工事の流れ



2. 建物などの解体について

内装解体

内装の仕上げ材の撤去

- ・ 手作業にて、解体します
- ・ 木や石膏ボード・プラスチックのように、種類別に分けて廃棄します。



解体状況



解体材集積状況



木くず 搬出状況

2. 建物などの解体について

建物の囲いの設置

建物の周りに囲いを設置

- ・ 解体する建物の周りには、囲い(防音パネルなど)をして、騒音を抑制・粉じんの飛散を防止します。



囲い設置前



足場組立て中



囲い(防音パネル)設置後

2. 建物などの解体について

地上部分の解体

地面から上の部分の解体

- ・ 解体用の建設機械で、コンクリートや鉄を圧搾・切断して解体します。
- ・ 水を撒きながら解体することで粉じんを抑えます。



油圧式ハサミの例



建物の解体状況

2. 建物などの解体について

地下部分の解体

地面からの下の部分の解体

- ・ 解体用の建設機械で、コンクリートや鉄を圧搾・切断して解体します。
- ・ 水を撒きながら解体することで粉じんを抑えます。
- ・ 杭抜きの機械により、杭の引き抜きを行います



地下部分の解体状況



地下部分の解体状況



杭ぬき状況

2. 建物などの解体について

埋戻し・整地

建物跡の埋戻し・整地

- ・ 建物があった場所の穴を良質土で埋めて、その場所が平坦になるよう整地します。



埋戻し状況



整地状況

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

(1) 相模原市の事前調査

アスベスト

② 焼却炉

土壌

アスベストの調査結果について

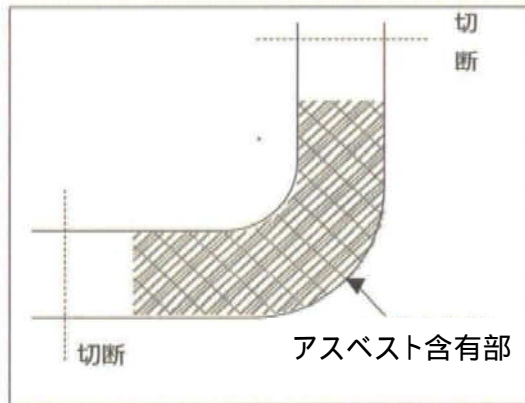
調査内容	調査箇所	調査結果
吹付け材	天井、壁等	アスベスト含有なし
断熱材	天井等	アスベスト含有なし
保温材	配管	配管エルボ部分にアスベスト含有あり
成形板	床、天井、内壁等	ケイカル板、スレート、フレキシルボード、吸音板等にアスベスト含有あり
石綿含有仕上塗材	外壁	吹付けタイルにアスベスト含有あり

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

アスベストの除去方法について【保温材】

保温材の除去方法

- ・ 配管の保温材のエルボ部分に、アスベストが使用されている場合は、直管部分で切断して、撤去を行います。



アスベスト含有部分



撤去状況



撤去状況

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

アスベストの除去方法について【成形版】

成形版の除去方法

- ・ 成形版は、事前に水を噴霧して湿らせてから、壊さないように手作業で撤去します。



噴霧状況



撤去状況



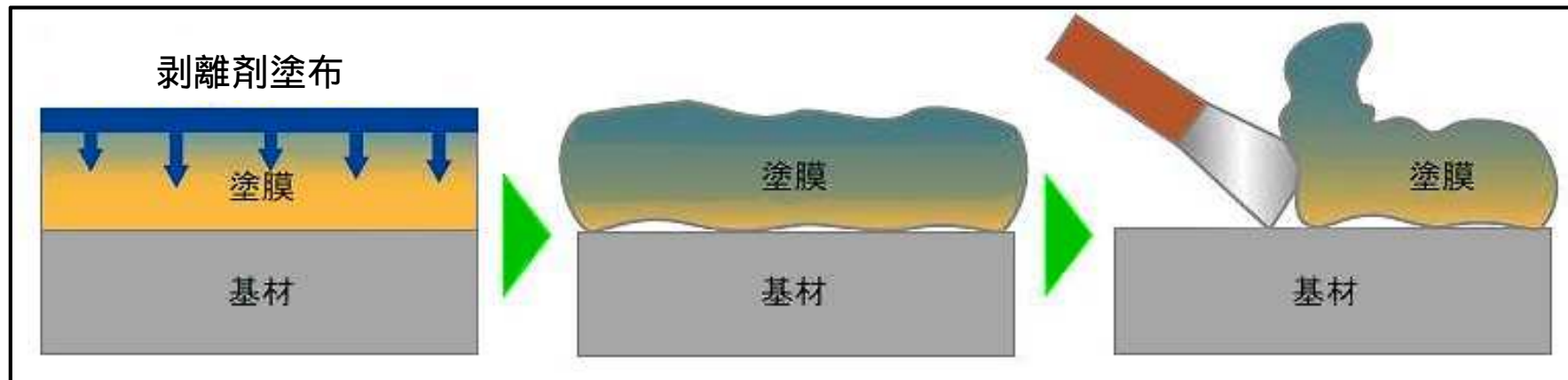
撤去完了

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

アスベストの除去方法について【仕上塗材】

仕上塗材の除去方法

- ・ 剥離剤という薬品を塗って、剥がし取ります。



作業中の監視

- ・ アスベスト除去作業時は、粉じん測定をして、粉じんが漏れ出していないか監視しながら行います。

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

② 焼却炉の調査結果について

対象地：処理棟

調査内容	調査箇所	調査結果
付着物のダイオキシン類	炉室	3ng-TEQ/g未満
	サイクロン	3ng-TEQ/g未満
	ガス冷却塔	3ng-TEQ/g未満
断熱材のアスベスト	煙突	含有なし

労働安全衛生規則・相模原市の要綱の規定による解体

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

焼却炉の解体について【隔離養生・隔離養生内の負圧化】

隔離養生について

- ・ 焼却施設は、建物を利用して囲います。
- ・ 開口部を塞ぎ、密閉します。



建物を利用した隔離養生の例

隔離区域の負圧化について

- ・ 隔離区域内で作業する時は、
周辺へ粉じんが漏れないように、
大型の集じん機を使用して区域内の
気圧を下げます。



集じん機の例

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

焼却炉の解体について【除去方法・作業中の監視について】

除去方法

- ・ 焼却施設内に付着している粉じんを高圧洗浄にて水洗いします。
- ・ 焼却施設の機器類は、隔離区域内で解体します。



作業中の監視

- ・ 焼却炉の解体作業時は、粉じん測定などをして、隔離区域から粉じんが漏れ出していないか監視しながら行います。



3. 事前調査の結果 および 解体方法について

土壌の調査結果について

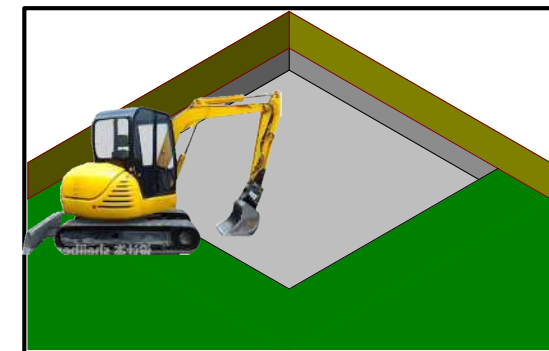
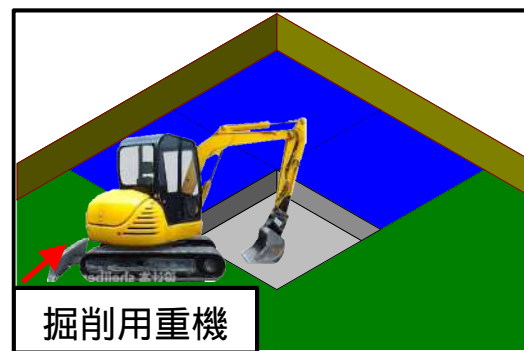
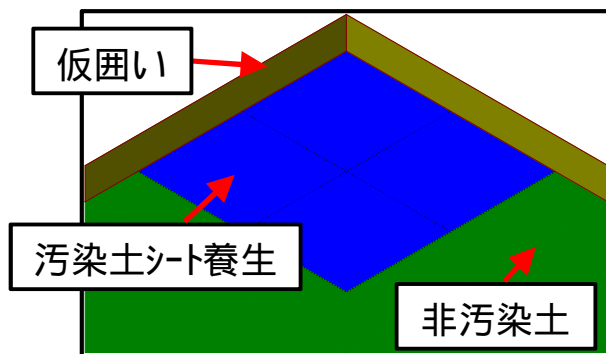
調査項目		調査内容等	調査結果	基準
土壌ガス	四塩化炭素	地表から1m下の空気を50カ所で採取	不検出	0.1volppm
	ジクロロメタン		不検出	0.1volppm
	ベンゼン	地表から1m下の空気を33カ所で採取	不検出	0.05volppm
土壌溶出量	六価クロム化合物	表層土壌または地下配管下土壌を61カ所で採取	全て基準適合	0.05mg/L
	シアン化合物		全て基準適合	不検出
	水銀及びその化合物		全て基準適合	0.0005mg/L
	砒素及びその化合物		全て基準適合	0.01mg/L
	ほう素及びその化合物		全て基準適合	1mg/L
	鉛及びその化合物	表層土壌または地下配管下土壌を66カ所で採取	全て基準適合	0.01mg/L
土壌含有量	六価クロム化合物	表層土壌または地下配管下土壌を61カ所で採取	全て基準適合	250mg/kg
	シアン化合物		全て基準適合	50mg/kg
	水銀及びその化合物 (アルキル水銀化合物を含む)		全て基準適合	15mg/kg
	砒素及びその化合物		全て基準適合	150mg/kg
	ほう素及びその化合物		全て基準適合	4000mg/kg
	鉛及びその化合物	表層土壌または地下配管下土壌を66カ所で採取 ボーリングにより各深度の土壌を10カ所で採取	10カ所で基準超過(210~1600mg/kg) 深度1.8mまで基準不適合	150mg/kg

3. 事前調査の結果 および 解体方法について

汚染土壌の除染方法について

汚染土壌の除去方法

- ・ 汚染部分を全て掘削・除去し、敷地外へ搬出します。
- ・ 除去範囲を確定した後、シート養生するなど飛散防止対策を講じ、作業を行います。
- ・ 汚染土壌処理業の許可業者により適正に処理します。
- ・ 土壌含有量基準を超過した土壌は、地下に汚染が浸透、拡大する可能性はありません。



作業状況イメージ図

4. 周辺の生活環境への対策について

- (1) 周辺環境対策
- (2) 危険防止対策
- (3) 交通安全対策

(1) 周辺環境対策

低騒音・低振動型の建設機械を使用します。

騒音・振動計を設置して、工事を監視します。

粉じんの飛散を抑制するため、散水などを確実に実施します。

環境測定を実施し、粉じんなどの飛散が無いか確認します。



4. 周辺的生活環境への対策について

(2) 危険防止対策

敷地周辺に安全配慮した工事を行います。

解体材などの飛散防止の管理を徹底します。

足場・仮囲いの転倒防止の管理を徹底します。

重機転倒防止を徹底します。

架空線切断防止を徹底します。



(3) 交通安全対策

工事車両は、市道淵野辺中和田線の通行はしません。

工事車両の種類や量に合わせて、適所に交通誘導員を配置します。

通学路・公園・市営プール利用者に配慮した徐行運転を実施します。

解体工事の敷地内に工事車両の待機場所を確保することで、路上駐車をしません。



工事のご説明は、ここまでになります。

皆さまが、『安心・安全』に工事を見守っていただけますように努めていきますので、ご理解の上、ご協力をお願い致します。

ご清聴 ありがとうございました。

工事について、ご質問などありましたら、お問い合わせください。

受注者：東亜建設工業・入江建設 共同企業体 TEL：03 - 6758 - 2601

発注者：相模原市 環境経済局 清掃施設課 TEL：042 - 769 - 8246

P25については、工事車両の通行経路を示した資料となりますが、ライセンスの関係により、掲載しておりません。
工事車両の通行経路については、国道16号の市営プール入口の交差点から、市道大沼285号線を通行いたします。